

消防団からのお知らせ

団員充足率 100%

ここ2年で新入団員が100人を超えました。安定した消防団活動をするため今年度も100%を達成できるよう引き続きご協力をお願いします。
(入団者数横浜市 No1、令和5年3月現在)

活動報告デジタル化

横浜市では、団員の負担削減のため、消防団活動事務等のデジタル化が推進されており、令和5年2月より戸塚消防団にも先行導入されました。

広報誌作成部員募集

広報部では広報誌を作成する団員を募集しています。写真撮影や紙面レイアウト等が得意で興味のある方はぜひ一緒に活動しましょう。

消防豆知識⑧ 身近なもので代用しよう

いざという時役に立つ
とっさのケガも日用品を使って
応急手当

ケガをした時に手当てをする道具がない。そんな時、身近にあるものを使った応急手当の方法をいくつか紹介します。身近にあるものを利用して対応しましょう。

あくまで救急隊が来るまでの応急措置なので、なるべく早くお医者さんに見てもらってください。

① レジ袋で三角巾



レジ袋の両脇をハサミで切って傷めた腕を通すだけ。簡単!! 失敗なし。

② ペットボトルでシャワー



フタに穴をあけて水を入れるだけ。出る水の量は穴の数や大きさに調節しよう。
※災害時に綺麗で貴重な水を有効に使用する方法です。

③ ラップで包帯



ラップを緊急時に包帯がわりに使えます。本当に緊急での使用に限ります。処置をしたら、なるべく早くお医者さんに見てもらってね。
注：やけどには使えません。

※この他にも「キッチンペーパーでマスク」「新聞紙でスリッパ」「毛布・シーツで担架」など、様々なもので代用できるものがあります。

急な病気や怪我で受診の相談をしたいときは・・・?
横浜市救急医療相談センター (#7119)



#7119

※または、045-232-7119
すべての電話でご利用できます。

受診できる病院・診療所を知りたい時は・・・?

電話機の 1 を選択してください。

急な病気や怪我で、病院・診療所に行くか、救急車を呼ぶか迷う時は・・・?

電話機の 2 を選択してください。



QRで即、電話



懐かし写真館

「刺し子」長着

写真は、昭和初期に活動していた「戸塚消防組」の「刺し子」長着。当時の防火服です。

前号及び今号で紹介した半纏、組頭半纏、「刺し子」長着、頭巾の4点は、12月7日、横浜市歴史博物館（都筑区）に寄贈されました。



消防に関する懐かしい写真をお寄せください。

戸塚消防団通信では消防団に関する活動・建物・機材など懐かしい写真を募集しております。「古い写真あります。」と電話かメール、または各分団の広報委員にお伝えください。

TEL : 045-881-0119

e-mail : sy-totsuka-sy@city.yokohama.jp



戸塚消防団通信

vol.8

2023.4

To Sho Dan News



特集

消防団の要 訓練教育部の紹介

消防団からのお知らせ
消防豆知識⑧
身近なもので代用しよう
懐かし写真館

今号の表紙：イベントで防火服を着てご機嫌な女の子
※上記の写真はご家族に掲載許可を得ています。



戸塚消防団通信
バックナンバーQR

特集 消防団の要 訓練教育部の紹介

戸塚消防団各部の中から今回は訓練教育部を紹介します

- ✓ 研修・講習会を計画・運営
- ✓ 団員の知識・心構え・技術の習得およびスキルアップを目指す
- ✓ 訓練指導者の育成

リーダーの皆さん

「私たちが優しく、正しく、丁寧に指導します。」

金子副団長

小賀原本部部長
(訓練指導者)

三枝木本部部長
(訓練指導者)



優しい知性派



訓練は楽しく、仲良く、厳しく、真剣に!



規律、放水等訓練なら何でもござれ

訓練指導者について

- ✓ 研修を通し、一定の技量を持つ団員を訓練指導者として認定
- ✓ 団員である訓練指導者が他の団員の消防技術を指導
- ✓ スキルアップ研修で指導者としての知識・技量をさらに高める
- ✓ 団員760名中、現在44名(男性39名、女性5名)
- ✓ 訓練指導者の見分け方: ヘルメットのシール
訓練時のビブス着用



訓練指導者より一言



森田訓練指導者

貴方の手が笑顔にする輪となり、一人は皆のために、皆は一人のために。救える命は救いたいを心に、団員の皆様に指導いたします。



吉原訓練指導者

地域の方々、仲間、家族を守る知識を得る為、団員の皆様に心を込めて指導いたします。より高い技術習得に励みます。

車両の取扱を指導



走行ルールを運転者と一緒に確認し、ルールをしっかり守るよう指導

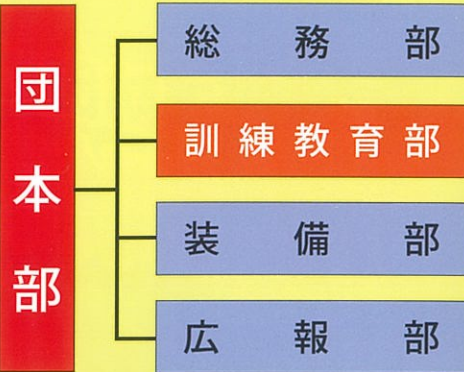
放水訓練の指導



腰をしっかり据えた姿勢および筒先の角度を指導

◆戸塚消防団組織図

(令和5年3月現在)



研修・訓練の内容

訓練教育部主催の研修・訓練

◆基本訓練

新入団員研修

- ・安全、団規則、心構え、規律訓練
 - ・ホース取扱、放水訓練
 - ・ロープ結索訓練、応急手当
- #### ◆フォローアップ研修
- ・スキルアップを目指す

◆機関科

- ・車両運転
- ・可搬式小型ポンプ

◆資機材取扱訓練

- ・チェーンソー
- ・エンジンカッター等取扱・整備

◆署団連携訓練

戸塚消防署との連携訓練

- ・風水害対策訓練
- ・連携消火訓練

◆救急救命講習(上級)

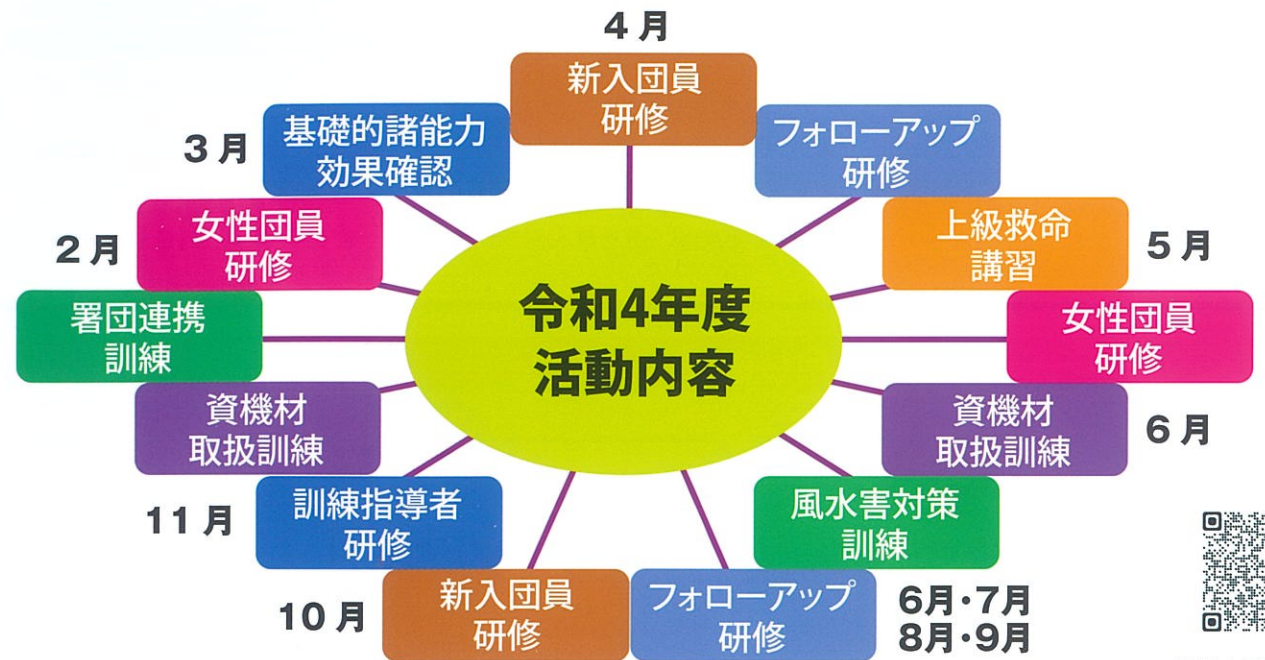
- ・メディカルラリー

◆女性団員研修(女性団員のみ)

◆訓練指導者研修

各分団・班の個別訓練

- ・規律、技術の定着



横浜市戸塚消防団
ホームページ

資機材取扱訓練



保護メガネもバッチリ装着

新入団員研修



列を整えて

基準!

安全に活動する事が大事

女性団員研修



“整列!”



“放水はじめ!”

訓練センター



戸塚区深谷町にあります。消防職員も訓練している施設であり、戸塚消防団のホームグラウンドとして使用し訓練しています。

上級救命講習



“繰り返し練習しなくっちゃ”

“結構力があるなあ”

署団連携訓練



マップで被害・対応状況を確認



連携消火訓練

メディカルラリー訓練会に参加して

※メディカルラリー：救急救命講習の応用訓練



3分回 齋藤悠太さん
救急車の需要が高まる中、色々な場面に出くわすことも少なくないと思います。自分にできることをやっていく、救命の特技を実践するいい機会になりました。



3分回 渡邊理恵さん
いつもは人形を相手にひたすら心肺蘇生の訓練をしていましたが、実際の現場では咄嗟に自分で気づけないことも多く、とても勉強になりました。



4分回 佐藤美千代さん
メディカルラリー訓練会に参加。想定訓練では反省点が沢山見つけましたが、失敗してこそ身につくもの。必要な時に活かせるよう繰り返し訓練しようと思います。